

社外取締役メッセージ

当社の社外取締役4名に、今後ニチバングループが持続的な成長をしていく上で、社外取締役の果たすべき役割、経営全般・取締役会における課題、委員会の活動などの観点からメッセージをいただきました。

1 東京地検検事に任官し各地検に勤務後、弁護士登録し法曹として40年以上過ごしてまいりました。検事として膨大な案件に対し公訴を提起するかどうかを一定期限内に決めなければならないという経験を通じて、自ずと事物のバランス感覚というものを身につけたと思います。当社では事業を展開するにあたり常に多種多様な場面や利害関係に遭遇するため、具体的な決定を要する場面では、その決定に問題がないかの判断の一助としての知見を提供できると考えています。

2 取締役会は自由な雰囲気の中で行われていますが、月次の実績に加え将来の事業展開を重視した構想等の紹介がなされればなおよいと思います。

3 取締役会の実効性は従前から十分機能しているとともに、社外取締役として女

性で保健学、看護学の専門家も加わっており、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の観点からも一層実効性の向上が図られたと評価します。当社中期経営計画「CREATION 2026」のなかで将来の持続的成長を担うために不可欠な人的資本経営が最重要と考えており、優れた人財を確保・育成することが長期的な企業価値の増大に必要不可欠であると考えます。

4 指名・報酬委員会は適宜開催されていますが、社外取締役は組織に関する知識と情報量に限界があるため、社長等会社側からの提案を受けてその根拠や合理性についての質疑応答により提案が客観性、透明性や公平性を有することを確認し、取締役会で決議しています。

5 近時過度の円安等の国際情勢による

原材料の高騰をはじめとする多難な経営環境のもとで、前記の事業ポートフォリオの再構築、グローバル企業化、人的資本経営の3つの重点テーマを掲げる中期経営計画「CREATION 2026」は誠に時宜にかなっていると評価できるとともに、全社一丸となってその目標実現に向かってまい進することを大いに期待しています。



社外取締役
石原 達夫

1 弁護士としてM&Aを含む会社法を中心にビジネス法務分野においてさまざまな業種の企業とかかわり、他社社外役員を務めてきました。ニチバングループにおいてはこのような私のバックボーンと経験に基づく知見を生かし、独立した客観的な立場から、幅広く適切かつ妥当な助言や提言をすることが期待されていると考えます。

2 当社取締役会では、経営全般にかかわるさまざまな課題がおおむね適時に上程され活発な意見交換が行われています。

3 当社は祖業のゼロテープ®事業に加え、近年ではメディカル事業が大きく伸長してきていますが、外部環境の変化が大きく影響して利益構造が大きく変化する

など、難しい経営判断を要求されることが増えています。取締役会では長期的な企業価値の増大に向け、グローバルな視点を入れつつ、慎重ななかにもリスクテイクを伴った積極果敢な判断を行っていく必要があると考えます。

4 しかるべき高い目標を設定し、全社員が一丸となって取り組むべき中期経営計画「CREATION 2026」の実現に向け、指名・報酬委員会においても透明・公正な人事並びに報酬となるべく討議を重ねています。

5 中期経営計画「CREATION 2026」は、人的資本経営を意識しつつ、事業ポートフォリオの再構築、新事業・大型新製品創出に向けたイノベーション活動推進、グ

ローバルサプライチェーンマネジメント体制の確立、サステナブル社会への貢献など、当社にとって野心的ともいえる目標を定めるものです。当社の積極的に大きく変わろうとしている姿勢の結果、一定の効果が生じています。さらに期待をしたいと思います。



社外取締役
佐藤 彰紘

質問項目

- 1** ご自身の経歴や知見を踏まえ、社外取締役として果たすべき役割
- 2** 経営全般もしくは取締役会における課題認識と対応
- 3** 取締役会の実効性とガバナンス体制の課題
- 4** 指名・報酬委員会の活動
- 5** 中期経営計画「CREATION2026」への期待

1 中長期ビジョン『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』のイノベーション創出とグローバル拡大に貢献することと認識しています。東京大学医学系研究科の教授として、そして、日本褥瘡学会等の学会理事長として、医療・看護分野における研究開発に30年以上取り組んできた経験を生かし、メディカル事業におけるイノベーション創出に関して専門家の立場から助言していく所存です。新製品のエコーガイド下穿刺固定用ドレッシングのカテゴリープラス™ エコーは、私が理事長を務めた看護理工学会とのコラボレーションによって生まれたものです。また、東京大学におけるグローバルナースングリサーチセンターの設立等を通じて、アジアやヨーロッパの大学と多くの共同プロジェクトを実施しました。これを踏まえて、グローバル事業の基盤確立をサポートしていき

いと考えています。

2 ヘルスケアや医療分野では、看護師をはじめとして、多くの女性が活躍しています。この分野での製品開発においては、女性目線でのアイデアや、女性社員の立場に立った労働環境などが重要になります。このような意見・提言等が経営トップの意思決定に反映されるように努めてまいります。

3 当社は「人」を大切に経営を掲げ、3年連続で経済産業省・日本健康会議による「健康経営優良法人」の認定を受けました。こうした人的資源管理におけるイノベーションへも、私の知見やネットワークを生かしたいと思います。

5 「CREATION 2026」の重点テーマである事業ポートフォリオの再構築におけ

る新領域での新規創出とグローバル企業化においては、国内やアジアの大学との医療分野での産学連携を進めてまいります。2025年には、東京大学に社会連携講座「次世代創傷ケア開発学」を開設します。人的資本経営においては、女性活躍推進への貢献を期待します。

※真田氏は「指名・報酬委員会」のメンバーではないため、4.の設問を割愛しています。



社外取締役
真田 弘美

はさまざまな出来事があったかと推察しますが、これからも時代を超えて愛される長寿ブランドならではの唯一無二のブランドの価値保全と次世代につなげられる新たな価値創造、新領域へのチャレンジを精いっぱいサポートさせていただきたいと思います。事業活動を取り巻く近年の環境変化は非常に大きく予測不可能な事柄も多くなっています。企業のリスクマネジメントが刻々と難易度を増していくなか、これまでの知見や経験を最大限に生かしながら皆さまと一緒にニチバンの成長に貢献できるよう努めてまいります。

5 中期経営計画「CREATION 2026」の基盤に人的資本経営が置かれていることは素晴らしいと思います。働く人の心理

的安全性が担保され、さまざまな人財が生き生きと活躍すれば企業のパワーが強くなることは必然ですので、私も目標の達成実現に向けての一助になれるよう努めてまいります。

※菅原氏は2025年6月26日の第121回定時株主総会にて新任せましたため、1と5へのメッセージを掲載しております。



社外取締役
菅原 順子